フィールドワークで考える

社会システム科学概論
第二回　2006

社会のリアリティをどこで、どう感じるか

- 新聞、週刊誌、月刊誌の記事　→　どれだけ読む？　どんな事件が印象に残る？
- リアリティ　現実感　身にしみて分かるから、他人事とは思えない、関心あるレベルまで
  →　最近、こういう分かり方をしました？
- 社会をどこで感じるか？どこで社会の仕組みについて疑問を持ったり、知ろうとしたりするか　→　そんな気持ちになったことは？

フィールドワーク：観察

- 参与観察　仲間に入る　リアルな分かり方
  →鎌田慧『自動車絶望工場』
  →川畑智子『性産業で働く女性から見た父権制支配システム』
- 微妙な距離　慣れて分かることと、慣れすぎて見えなくなることもある　違和感を大事に
  →観察者は帰還することが重要：　ミイラ取りがミイラに　宗教調査の怖さ

- エピソードを得る　フォーマルな調査では得られない情報に身をさらす　→日常的な出来事か、自分が起こした出来事か？
- 非言語的情報の意義　言葉が発せられ、行為が行われる状況を理解する　→鵜飼正樹『大衆演劇への旅：南条まさきの1年2ヶ月』

寄せ場から見えてくるもの

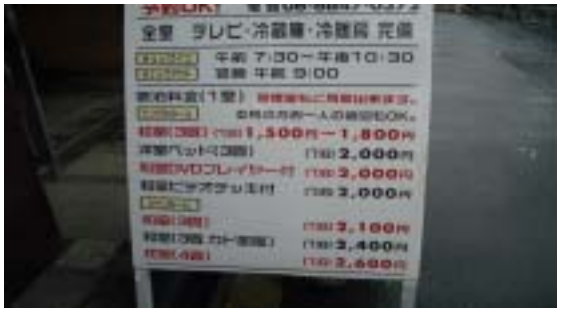
- 寄せ場　日雇い労働者の街（大阪釜ヶ先、横浜寿町、東京山谷）
- 大阪で安く泊まれるところ　西成　→ビジネス、カプセルとは違う簡易宿泊施設　ドヤ
- 街でみた風景　写真

安い宿泊料金

相部屋･ベッド式？

完全ベッド　最安値

部屋の種類によって



簡易宿泊施設街

職安と病院

キリスト教会は伝道する

貴重品

飲み物も格安

飛田新地

新世界？

オウム反対

労働市場としての寄せ場

- 労働者がドヤに集住→人夫出し業者（雇用調整の最たる形態、社会保障なし）
- 雇用保険日雇労働被保険者手帳（２ヵ月で２８枚の印紙→日雇労働者失業保険：13日5000円前後）
- マグロ（シノギ）路上強盗 →ケガ
- 生活保護：憲法「最低限の生活を保障する国の責任」→住民票、働けないことの証明
- 野宿　路上生活　→ホームレス

労働者の来歴と今後

- 出身階層　親の生業・学歴・職歴
- 転職：一般労働市場の調整（景気、リストラ、自己都合）→ 日雇い労働者：釜ヶ先：単身者
- 1960s 30代後半;1980s 50前後;2000年　高齢化
- 労働需要の減少　外国人労働者との競合
- ドヤ→野宿　1990年代日本が生み出したもの

社会学の基本概念

- 地域　居住形態　ドヤ
- 労働　労働市場　寄せ場
- 地域移動：地方から都市へ
- 階層移動：下層労働者へ
- 福祉：白手帳　生活保護　高齢化

- 国際比較：スラムとの違い：日本社会の光と陰